

牛乳パックで「世界でひとつ」の おもちゃができた



どんなおばけを描いたのかな？

お もちゃのテーマは「おばけ」。有賀先生曰く、「おばけは誰も見たことがない。だから正解も間違いも、上手いも下手もない。『何でもあり』の豊かな表現ができる」。牛乳パックを使うのも、身近にある物を工夫して作る方が、より愛着が湧くからだそうです。



口を開けるとメッセージが表れる！

まずは3年生が、牛乳パックを切って折るだけ、簡単にできてメッセージカードにもなる「お口パクパクカード」作りに挑戦。完成したおもちゃの口の中に、おうちの方や先生などへ、メッセージを書きました。

4 年生は少しだけ作業工程が難しくなる「回転円盤おばけ百面相」に挑戦しました。こちらは円盤を回すとおばけの表情がくるくる変わるおもちゃです。

私がたくさん付いていたり、果物を身にまとっていたり、自分だけのおばけが完成！ 子どもたちはその後、作ったおばけで楽しく遊びました。

とき 令和元年9月18日(水)

ところ 長野市立山王小学校(3年生42名・4年生44名)

講師 有賀 忍(板絵画家・江戸川大学客員教授)

初めて長野県内での実施となった
今年の工作教室。

市街地の中心にある山王小学校で、
身近な素材・牛乳パックを使って
おもちゃ作りを行いました。



真剣に自分だけのおばけを作成

当 日は、いくつものテレビ局や新聞社が取材に訪れ、いつの間にか教室のあちこちがインタビュー会場に！ 子どもたちは高揚した表情で答えていました。

先生方には「みんなと違っていいんだよ、ということを伝えることの大切さを改めて感じました」と大好評で、ぜひまたお願いしたいと嬉しいお言葉をいただきました。



目と口が変わって表情いろいろ！

幼児教育

『おはなしメリーゴーランド』の
ダウンロードが12月スタート！

ハナちゃんたちの教材用イラストがダウンロードできます。工作教室でも大活躍、監修・有賀忍さんのコラムも掲載しますのでお楽しみ!!



あそびとまなび
てらこあん

<https://www.kindness.jp/kids/>

工作教室の様子を紹介しているほか、おもちゃの作り方動画を配信中！

